

平成26年度事業報告書

奈良経済同友会

I 概括

平成26年度のわが国経済は、年度前半は4月の消費税引き上げの影響などにより消費マインドが減退し、景気に減速感が表れ、加えて度重なる自然災害、急激な円安、人手不足感など相まって景気の足踏み状態が続いた。年度後半から終盤には原油安、円安効果による輸出の増加、株価の上昇などにより緩やかに回復し始めた年であった。

一方中小・小規模中心の県内産業の動向は、個人消費の低迷に加え、原材料価格のコスト上昇、人手不足など依然として疲弊状態が続き、先行きも不透明な経済環境が続くものと思われる。

このような中で本会は、例会活動を中心に展開し、最先端技術開発の動向、現役経営者の経営談、強靱な国づくり、スーパーコンピュータ「京」などの県外見学会、行政トップとの意見交換会や県勢の動向、忘年会でのミニ・コンサート、新年名刺交換会、恒例の奈良女子大学との産学連携、蓄積されたにほんの知恵、メディアの裏話など著名な学者や話題の経営者を招き、多くの参加者のもと、懇親会もあわせて開催し、おおいに交流を深めた。恒例の年頭所感では、「観光の活性化」「働く場づくり、地域を支える人材づくり」「道路等交通インフラの整備」について年頭の記者会見で発表した。フォーラムでは会員企業の経営者の経営・経験談など次代を担う経営者の育成につとめるとともに、ホームページによる情報発信やゴルフ親睦会などを通じて交流・懇親を深めた。また、会員の積極的な紹介を通じて会員増強に努め、魅力ある同友会活動を継続的に推進した。

対外交流活動では、第27回全国経済同友会セミナー（静岡市）、第1回西日本経済同友会代表者会議（大阪市）、第112回西日本経済同友会会員合同懇談会（高知市）、全国経済同友会代表幹事円卓会議（福島県郡山市）、京滋奈代表者懇談会（京都市）への多数の参加を通じて、県外経済同友会会員との交流を深めた。また、関係経済諸団体と連携してリニア中央新幹線の東京・大阪間の同時開業、京奈和自動車道の整備促進など積極的に推進した。

以上本年の当会は、多くの参加者と多彩なテーマの下、自主・自立の精神で、経営者が自らなすべきことを考え、実践的・具体的に議論し、志の高い政策集団として、地に着いた活動を展開した。

II 会合日誌

1. 総会

◎4月21日

於 奈良商工会議所会館会議室

1. 議件

- ①平成25年度事業報告並びに収支決算承認の件
- ②会費等に関する細則改正(案)審議の件
- ③平成26年度事業計画(案)並びに収支予算(案)審議の件
- ④平成26年度役員選任(案)の件
- ⑤その他

- ・西日本地区経済同友会会員合同懇談会：平成27年10月奈良開催について
- ・特別会員委嘱について

1. 記念特別講演

テーマ 近畿地方の社会資本整備と観光振興
講師 国土交通省近畿地方整備局長 池内幸司氏

1. 会員懇親会

1. 出席者 82名

2. 正副代表幹事会

◎10月31日

於 奈良商工会議所会館会議室

1. 議件

- ①今後の同友会活動について
- ②その他

1. 出席者 9名

3. 幹事会

◎4月7日

於 奈良商工会議所会館会議室

1. 議件

- ①平成25年度事業報告並びに収支決算承認の件
- ②会費等に関する細則改正(案)審議の件
- ③平成26年度事業計画(案)並びに収支予算(案)審議の件
- ④平成26年度役員選任(案)審議の件
- ⑤その他

- ・西日本地区経済同友会会員合同懇談会：平成27年10月奈良開催について
- ・特別会員委嘱について

1. 出席者 26名

4. 会計監査

◎4月2日

於 三笠産業㈱会議室

1. 出席者 2名

◎4月7日

於 三和住宅㈱会議室

1. 出席者 2名

5. 例会

◎5月23日

於 奈良商工会議所会館会議室

1. テーマ 脳の働きと心の動き
1. 講師 (株)国際電気通信基礎技術研究所
脳情報通信総合研究所 所長 ATR フェロー 川 人 光 男 氏
1. 出席者 61名

◎6月13日 於 春日ホテル

1. テーマ 企業・関西の「原点」と「変化への対応」
1. 講師 (一社) 関西経済同友会 代表幹事 加 藤 貞 男 氏
(日本生命保険相互会社・代表取締役副会長)
1. 出席者 72名

◎7月11日 於 奈良商工会議所会館会議室

1. テーマ 新生日本一経済、社会、国土の強靱な国づくり
1. 講師 京都大学大学院工学研究科 教授 第二次安倍内閣・内閣官房参与
国土強靱化担当大臣 私的諮問委員会
「ナショナル・レジエンス (国土強靱化) 懇談会」座長 藤 井 聡 氏
1. 出席者 61名

◎9月10日 於 ダンロップスポーツ(株)
理化学研究所計算科学研究所「京」

1. テーマ 講演と見学会
1. 講演 テーマ：ゴルフクラブ「XXIO (ゼクシオ)」の誕生と成功要因
講 師：馬場 宏之・ダンロップスポーツ(株)会長 (神戸経済同友会・代表幹事)
1. 見学先 ダンロップスポーツ(株)試打計測所、理化学研究所 計算科学研究機構「京」
1. 懇親会 神戸酒心館「さかしばやし」
1. 出席者 41名

◎10月17日 於 奈良商工会議所会館会議室

1. テーマ 私の相場予測アプローチ
～運用経験に基づく金融市場研究、相場見通し、運用戦略など～
1. 講師 大和証券(株)ラップビジネス部 グローバル債券・外国為替担当部長
チーフポートフォリオマネージャー 星 宏 明 氏
1. 出席者 61名

◎11月10日 於 奈良商工会議所会館会議室

1. テーマ 地域づくりとスポーツ (県アリーナ構想など)
1. 講師 奈良県くらし創造部長 影 山 清 氏
1. 出席者 71名

◎12月5日 於 ホテルサンルート奈良

1. テーマ 「奈良フィルメンバーによる「ミニ・コンサート」と忘年会
1. プログラム 女声三部合唱 ソプラノ：大原 未子 ソプラノ：樋岡 理世
メゾソプラノ：古賀あゆみ ピアノ：山中 麻有里
・オー・シャンリゼ ・瑠璃色の地球 ・ホームソングメドレー (ローレライ・
野ばら・ウィーンわが夢のまち) ・クリスマスキャロルより ・手紙の二

重唱（フィガロの結婚より「モーツァルト」など……………。

1. 懇親パーティー（忘年会）
1. 出席者 64名

◎1月19日 於 奈良女子大学コラボレーションセンター
奈良商工会議所会館会議室

1. テーマ 第9回奈良女子大学との懇談・交流会
 - ・奈良女子大学（講演）
テーマ：温冷感覚の情動性とインタフェース応用
講師：研究院 生活環境科学 講師 佐藤 克成 氏
 - ・奈良女子大学（講演）
テーマ：奈良女子大学における理系女性リーダー養成
講師：研究院 自然科学系 教授 上江洲 達也 氏
 - ・奈良経済同友会（講演）
テーマ：パワーバリアレス社会の実現を目指して
講師：アクティブリンク(株) 社長 藤本 弘道
- ・懇親会 ところ：奈良商工会議所会館会議室

1. 出席者 70名

◎2月17日 於 奈良商工会議所会館会議室

1. テーマ につぼんの知恵ービジネスに底流する精神文化ー
1. 講師 佛教大学 教授 高田 公理 氏
1. 出席者 59名

◎3月3日 於 奈良商工会議所会館会議室

1. テーマ 「マッサン」の舞台裏
1. 講師 日本放送協会 大阪放送局 チーフ プロデューサー 櫻井 賢 氏
1. 出席者 55名

6. 経済講演会

（奈良商工会議所、奈良商工会議所友好倶楽部、奈良経済同友会共催）

◎3月2日 於 奈良商工会議所会館会議室

1. テーマ 来年度の経済展望と関西経済
1. 講師 日本銀行理事 大阪支店長 宮野谷 篤 氏
1. 出席者 95名

7. 行政（県・幹部）との懇談会

◎2月2日 於 奈良商工会議所会館会議室

1. テーマ 奈良県との意見交換会
1. 出席者 19名

8. 合同新年名刺交換会

（奈良商工会議所、奈良経済産業協会、奈良県経済倶楽部、奈良商工会議所友好倶楽部、奈良経済同友会共催）

◎1月6日 於 ホテル日航奈良

1. 出席者 800名

9. 合同新年記者会見

(奈良商工会議所、奈良経済同友会共催)

◎1月6日 於 ホテル日航奈良

1. 出席者 20名

10. 第113回西日本経済同友会会員合同懇談会実行委員会

◎7月9日 於 奈良商工会議所会館会議室

1. 議件

① 第113回西日本経済同友会会員合同懇談会開催要領などについて

② その他

1. 出席者 13名

◎8月28日 於 奈良商工会議所会館会議室

1. 議件

① 第113回西日本経済同友会会員合同懇談会開催要領などについて

・テーマ、・基調講演、・対談、鼎談、パネルディスカッション、

・懇親パーティー、・アトラクション、・物産展、・エクスカージョン

② その他

1. 出席者 14名

◎2月24日 於 奈良商工会議所会館会議室

1. 議件

① 第113回西日本経済同友会会員合同懇談会開催要領などについて

・テーマ、・基調講演、・パネルディスカッション、

・懇親パーティー、・アトラクション、・物産展、・エクスカージョン

・役割分担

② その他

1. 出席者 17名

11. 平成27年年頭所感起草委員会

◎10月23日 於 奈良商工会議所会館会議室

1. 議件

① 具体的な提言骨子について

・地域・地場産業の振興

・観光産業

・スポーツツーリズムと地域の活性化

・リニア中央新幹線の東京・大阪間同時開業

・高齢化・人口減少対策

・住みよいまちづくり

②その他

1. 出席者 16名

◎12月5日 於 奈良市ならまちセンター会議室

1. 議件

①具体的な提言骨子の絞り込みについて

1. 地域・地場・観光産業の振興
2. 教育・医療の充実と地域の活性化
3. 高齢化と人口減少対策
4. 住みたいまちづくり

1. 出席者 14名

12. 海外視察研修・インドネシア「ジャカルタ」

1. と き 5月28日～6月1日

1. 視察研修

1. 野村證券(株)インドネシア・ジャカルタ オフィス
1. ジャカルタ市内・郊外視察 (大統領官邸等)
1. (株)富士精密・現地工場
1. 日本貿易振興会 (JETRO) インドネシア・ジャカルタ事務所
1. バンクネガラ インドネシア 本店

1. 参加者 23名

13. 鳶川安雄・前代表幹事、慰労会

◎5月2日

於 ラ・テラスオールデイダイニング

1. 出席者 63名

14. 小林茂樹・前衆議院議員 (三和住宅(株)会長)、激励会

◎1月30日

於 月日亭・西大寺サンワシティ店

1. 出席者 42名

15. ゴルフ親睦会

◎5月17日

於 ディアパークゴルフクラブ

1. 出席者 24名

◎11月8日

於 グランデージゴルフ倶楽部

1. 出席者 28名

16. フォーラム

◎1月24日

於 ヒルトップテラス奈良

1. テーマ 仕事、引退 そして 旅
1. 講師 ディライト(株) 会長 出口 悦 弘
1. 見学 若草山・山焼き
1. 出席者 56名

17. 京滋奈代表者懇談会

(京都、滋賀、奈良3経済同友会)

◎1月27日 (第14回京滋奈代表者懇談会)

於 柊家

1. 議件

①京都・滋賀・奈良3経済同友会の主な活動報告について

②その他

1. 出席者 11名

18. 京滋奈三・広域交流圏研究会連絡会議

(5府県市(京都府、滋賀県、奈良県、三重県、京都市)、6経済団体(京都・大津・奈良3商工会議所、京都・滋賀・奈良3経済同友会共催)

◎1月15日

於 三重県伊勢市

1. テーマ 意見交換会及び見学会

1. 意見交換会

・観光振興にかかわる官民連携

・観光による地域活性化

1. 見学会

・伊勢神宮(外宮、せんぐう館、内宮、おはらい町)

1. 出席者 13名

19. リニア中央新幹線建設促進奈良県経済団体協議会共催事業

奈良県商工会議所連合会、奈良県商工会連合会、奈良県中小企業団体中央会、奈良経済産業協会、奈良県経済倶楽部、奈良県銀行協会、奈良青年会議所、奈良経済同友会、奈良市観光協会、奈良県ビジターズビューロー、奈良県バス協会、奈良県タクシー協会

◎7月1日

於 奈良商工会議所会館会議室

<リニア中央新幹線建設促進奈良県経済団体協議会・理事会>

1. 議事

① 平成25年度事業報告及び同収支決算報告について

② 平成26年度事業計画(案)及び同収支予算(案)について

③ その他

1. 講演会

テーマ 「リニア中央新幹線の現状について」

講師 奈良県県土マネジメント 地域交通課 課長補佐 森 口 尚 紀

1. 出席者 21名

◎7月17日

於 東京・イイノホール&カンファレンスセンターRoom B

<平成26年度リニア中央新幹線建設促進経済団体連合会総会>

1. 議事

①平成25年度事業報告並びに収支決算報告について

②平成26年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について

③役員改選について

④総会決議「リニア中央新幹線の早期全線(東京・大阪)整備に向けて、一致協力して強力な運動を展開する」

⑤講演「リニア中央新幹線に関する近況について」

講師：東海旅客鉄道(株)中央新幹線推進本部 企画推進部 担当部長 後 藤 康 之

1. 出席者120名

◎9月3日

於 橿原ロイヤルホテル

<リニア中央新幹線建設促進三重県・奈良県経済団体連合協議会平成26年度総会>

1. 議事

- ①平成25年度事業報告並びに収支決算について
- ②平成26年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について
- ③役員改選について

1. 総会決議

1. 出席者 120名

◎9月3日 於 橿原ロイヤルホテル
<第3回三重県・奈良県リニア中央新幹線建設促進会議>

1. 主催者挨拶

1. 来賓挨拶

1. 来賓紹介

1. 共同アピール採択

1. 出席者 240名

20. 京奈和自動車道建設促進関連

◎7月9日 於 奈良商工会議所会館会議室
<京奈和自動車道建設促進県民会議・理事会>

1. 議事

- ①平成25年度事業報告及び同収支決算報告について
- ②平成26年度事業計画（案）及び同収支予算（案）について
- ③役員改選について
- ④その他

1. 出席者 17名

◎7月9日 於 奈良商工会議所会館会議室
<京奈和自動車道建設促進県民会議・総会>

1. 議事

- ①平成25年度事業報告及び同収支決算報告について
- ②平成26年度事業計画（案）及び同収支予算（案）について
- ③役員改選について
- ④その他

1. 講演

テーマ 京奈和自動車道の進捗状況について

講師 国土交通省 近畿地方整備局 奈良国道事務所長 若尾 将徳

1. 出席者 45名

21. 産学連携のための経営者セミナー・懇談会共催事業

○奈良県大学連合

奈良教育大学、奈良女子大学、奈良先端科学技術大学院大学、奈良県立大学、奈良県立医科大学、帝塚山大学、天理大学、奈良大学、奈良産業大学

○県内経済諸団体

奈良県商工会議所連合会、奈良県商工会連合会、奈良県中小企業団体中央会、奈良経済産業協会、奈良県地域産業振興センター、奈良経済同友会

◎2月19日 於 天理大学杣之内キャンパス
研究棟3階 第一会議室

1. 講演

テーマ 「文系産官学連携の取り組み事例と地域振興の可能性」

講師 帝塚山大学経営学部 准教授 菅 万希子

テーマ 「ネットワークの戦略・組織・管理」

講師 奈良大学 社会学部 教授 亀 田 速 穂

1. 懇談会

1. 出席者 60名

2.2. 全国経済同友会セミナー

<第27回>

◎4月17日～18日

於 ホテルセンチュリー静岡

<4月17日>

1. 大会次第

1. テーマ 持続可能な発展をめざして～「ふじのくに日本」の新・成長戦略～

1. 基調講演

テーマ 「日本と地域の新・成長戦略」

講師 伊藤 元重 東京大学大学院 経済学研究科 教授

1. 岩手・仙台・福島経済同友会からの報告

渡部 世一 福島経済同友会 代表幹事/株福島民報社 会長

大山 健太郎 仙台経済同友会 代表幹事/アイリスオーヤマ(株) 社長

高橋 真裕 岩手経済同友会 代表幹事/株岩手銀行 頭取

1. 分科会討議

①持続可能な発展と企業経営 ②農業・医療を成長産業として育てていくために ③再生・日本のモノづくり ④「豊かな少子高齢社会」、「若者が希望が持てる社会」を目指して

1. 懇親パーティー

<4月18日>

1. 分科会報告

1. 総括挨拶 長谷川 閑史 経済同友会 代表幹事/武田薬品工業(株) 社長

1. 特別講演

テーマ:「江戸の遺伝子・日本の遺伝子」

講師:徳川 恒孝(公財)徳川記念財団 理事長 (徳川宗家十八代当主)

(公財)WWF 世界自然保護基金ジャパン 会長)

1. 出席者 988名 (当会11名)

<エクスカージョン>

・同伴者コース

・Aコース:日本平からの世界文化遺産「富士山」展望と国宝「久能山東照宮」拝観

・懇親パーティー終了後「静岡ナイトコース」

・Bコース:浮月楼 徳川慶喜公屋敷跡にて

・セミナー終了後午後半日コース

・Cコース:東海道名物「とろろ」汁と幼少期の家康公ゆかりの地を巡る

・セミナー終了後午後半日コース

・Dコース:駿河湾の幸と浜名湖花博満喫

・セミナー終了後午後半日コース

・Eコース:日本平からの世界文化遺産「富士山」展望と国宝「久能山東照宮」拝観

・セミナー終了後1泊2日コース

- ・ Fコース：家康公お気に入りの熱海温泉と箱根からの世界文化遺産「富士山」展望
- ・ セミナー終了後1泊2日コース
 - ・ Gコース：世界文化遺産「富士山」と構成資産周遊コース
- ・ セミナー終了後1泊2日コース
 - ・ Hコース：海と山から世界文化遺産「富士山」満喫
- ・ セミナー翌日1日コース
 - ・ Iコース：各ホールから富士山が望める富嶽カントリーでの懇親ゴルフ

23. 第1回西日本経済同友会代表者会議

◎7月18日

於 グランフロント大阪
ナレッジキャピタル・カンファレンスルーム「CO1」

1. 代表者会議次第
 1. ナレッジキャピタルの視察
 1. テーマ 東京一極集中の是正と地域活性化
～「民の力」の発揮と政府・自治体のなすべきこと～
 1. 開会挨拶 (関西) 代表幹事 加藤 貞男 日本生命保険・副会長
 1. 司会 (関西) 代表幹事 村尾 和俊 西日本電信電話・社長
 1. 各地域からの発言
 1. 中部、九州、香川、広島、関西、京都
 1. 意見交換
 1. 各地域からの発言を踏まえた、主テーマに関する意見交換
 1. 共同アピールの検討
 1. 共同アピールの採択
 1. 閉会挨拶 (京都) 代表幹事 増田 寿幸 京都信用金庫・理事長
 1. 懇親パーティー
 1. 出席者 70名 (内当会3名)

24. 第112回関西地区経済同友会会員合同懇談会

◎10月3日

於 ザクラウンパレス新阪急
高知城

1. 懇談会次第 ところ：ザクラウンパレス新阪急
1. テーマ 高知家が育む県民幸福度GKH～日本一の輝く田舎を目指して～
1. オープニング 土佐おもてなし勤王党
1. 基調講演
 1. テーマ 「日本の地域における幸福度」
 1. 講師 内田由紀子 (京都大学 ころの未来研究センター 准教授)
1. パネルディスカッション
 1. パネリスト：内田 由紀子 (京都大学 ころの未来研究センター 准教授)
 渋谷 康一郎 (筑波総研調査部長 チーフエコノミスト)
 黒笹 慈幾 (南国生活技術研究所 代表)
 安藤 桃子 (映画監督)
 木村 祐二 (土佐経済同友会 特別幹事)
 1. コーディネーター
 受田 浩之 (高知大学 副学長)
1. 懇親パーティー ところ：高知城

1. オープニング 山田太鼓&高知県日本舞踊協会、よさこい総踊り「花神楽」

1. 出席者 327名(当会27名)

<エクスカーション>

Aコース(懇談会前日・ナイトコース):土佐のお座敷遊び体験プラン

Bコース(同伴者コース):高知のミュージアムと庭園を巡るコース

Cコース:お遍路と土佐の歴史探訪コース

Dコース:土佐の歴史とジオの恵みを感じる「高知県東部」を巡るコース

Eコース:土佐の大自然四万十川と黒潮を体験する「高知県西部」を巡るコース

Fコース:(懇親ゴルフコース)高知黒潮カントリークラブゴルフコース

25. 諸会議出席

※西日本経済同友会事務局長会議

と き 6月15日

ところ リーガロイヤルホテル(大阪市)

出席者 堀田哲廣事務局長

※平成26年度全国経済同友会事務局長会議

と き 9月4日~5日

ところ 鬼怒川グランドホテル

出席者 堀田哲廣事務局長

※西日本経済同友会代表幹事会

と き 10月3日

ところ ザクラウンパレス新阪急高知

出席者 山田善久・山本太治両代表幹事

※全国経済同友会代表幹事円卓会議

と き 10月20日~21日

ところ ホテルハマツ(福島県郡山市)

出席者 山田善久・山本太治両代表幹事、堀田哲廣事務局長

※西日本経済同友会事務局長会議

と き 2月20日

ところ 大阪マリオット都ホテル

出席者 堀田哲廣事務局長

※東日本大震災追悼シンポジウム・被災地視察会

と き 3月10日~11日

ところ 大船渡市、陸前高田市、盛岡グランドホテル

出席者 山本太治代表幹事、堀田哲廣事務局長

III 会勢

1. 平成26年度役員・委員会

<平成26年度役員名簿>

代表幹事	山田善久	大光宣伝(株)	取締役社長
代表幹事	山本太治	(株)三輪そうめん山本	取締役社長
特別幹事	中野重宏	(株)ホテルサンルート奈良	代表取締役会長
特別幹事	岡村元嗣	岡村印刷工業(株)	取締役社長
			(交替 26.6)
特別幹事	柳谷勝美	(財)南都経済センター	前顧問
特別幹事	福本良平	(株)福本設計	代表取締役会長
特別幹事	鳶川安雄	(株)南都銀行	取締役副頭取
副代表幹事	石井昌	東洋精密工業(株)	取締役会長
副代表幹事	田中郁子	(株)柿の葉すし本舗たなか	取締役社長
副代表幹事	脇本吉清	ワキ製菓(株)	代表取締役会長
副代表幹事	吉田裕	(株)大和農園ホールディングス	取締役社長
副代表幹事	北義彦	(株)南都銀行	常務取締役
幹事	朝廣佳子	(株)読売奈良ライフ	取締役社長
幹事	乾昌弘	(株)明新社	取締役社長
幹事	井村守宏	(株)イムラ封筒	代表取締役会長
幹事	植嶋修治	(株)植嶋	取締役社長
幹事	植田英寛	(株)中和商事	取締役社長
幹事	上田昌平	(株)レナ	代表取締役
幹事	卜部能尚	ウラベ木材工業	代表者
幹事	大歳清次	奈良信用金庫	理事長
幹事	太田嗣郎	三和ゴム工業(株)	取締役社長
幹事	角谷守啓	奈良交通(株)	常務取締役
幹事	菊池攻	奈良トヨタ自動車(株)	取締役社長
幹事	黒田浩之	黒田会計事務所	所長
幹事	小西恵美	(株)丸和不動産	取締役社長
幹事	小西敏文	第一化工(株)	代表取締役会長
幹事	小山新造	小山(株)	取締役社長
幹事	近東宏佳	共同精版印刷(株)	取締役社長
幹事	佐藤典嗣	佐藤木材(株)	取締役社長
幹事	谷奥忠嗣	谷一木材(株)	取締役社長
幹事	谷野守弘	奈良中央信用金庫	専務理事
幹事	田村健吉	(一財)南都経済研究所	理事長
幹事	辻将央	大峰堂薬品工業(株)	取締役社長
幹事	出口悦弘	ディライト(株)	代表取締役会長
幹事	豊澤安男	奈良豊澤酒造(株)	取締役社長
幹事	中尾七隆	(株)中尾組	専務取締役
幹事	中川雅晴	有限責任監査法人トーマツ	奈良事務所長
			(交替 26.10)
幹事	中村光良	中村建設(株)	取締役社長
幹事	萩原斗志弘	(株)萩原農場生産研究所	専務取締役
幹事	畠山晴衣	(株)サロンまき	取締役社長
幹事	藤田寿美子	学校法人ハルナ学園	理事長
幹事	松本喜久子	社会福祉法人白鳳会西大和保育園	理事長・園長

幹事	水谷 豊	(株)あかしや	取締役社長
幹事	森川 善隆	大和信用金庫	専務理事
幹事	森 雅彦	DMG森精機(株)	取締役社長
幹事	森田 康宏	ディテック(株)	代表取締役会長
幹事	森本 俊一	三和澱粉工業(株)	代表取締役会長
幹事	吉田 明史	(株)花の大和	取締役社長
幹事	吉田 浩巳	(公社)まちづくり国際交流センター	理事長
監事	小林 茂樹	三和住宅(株)	代表取締役会長
監事	林田 壽昭	三笠産業(株)	取締役社長
監事	森田 務	森田務公認会計士事務所	所長

<平成27年年頭所感起草委員会名簿>

◎山田 善久	大光宣伝(株)	取締役社長
◎山本 太治	(株)三輪そうめん山本	取締役社長
石井 昌	東洋精密工業(株)	代表取締役会長
田中 郁子	(株)柿の葉すし本舗たなか	取締役社長
脇本 吉清	ワキ製薬(株)	代表取締役会長
吉田 裕	(株)大和農園ホールディングス	取締役社長
北 義彦	(株)南都銀行	常務取締役
上田 昌平	(株)レナ	代表取締役
桶谷 晃弘	(株)桶谷	専務取締役
角谷 守啓	奈良交通(株)	常務取締役
小林 茂樹	三和住宅(株)	代表取締役会長
近東 宏佳	共同精版印刷(株)	取締役社長
佐藤 典嗣	佐藤木材(株)	取締役社長
谷野 守弘	奈良中央信用金庫	専務理事
田村 健吉	(一財)南都経済研究所	理事長
中尾 七隆	(株)中尾組	専務取締役
速水 良照	(株)近鉄百貨店	執行役員奈良店長
増田 友宏	(株)春日ホテル	取締役社長
吉田 浩巳	(公社)まちづくり国際交流センター	理事長

◎印は代表幹事

<第113回西日本経済同友会会員合同懇談会実行委員会名簿>

◎山田 善久	大光宣伝(株)	取締役社長
◎山本 太治	(株)三輪そうめん山本	取締役社長
石井 昌	東洋精密工業(株)	代表取締役会長
田中 郁子	(株)柿の葉すし本舗たなか	取締役社長
脇本 吉清	ワキ製薬(株)	代表取締役会長
吉田 裕	(株)大和農園ホールディングス	取締役社長
北 義彦	(株)南都銀行	常務取締役
朝廣 佳子	(株)読売奈良ライフ	取締役社長
乾 昌弘	(株)明新社	取締役社長
植嶋 修治	(株)植嶋	取締役社長

岡村匡倫	岡村印刷工業(株)	常務取締役
角谷守啓	奈良交通(株)	常務取締役
上武建一	上武建設(株)	代表取締役副社長
佐藤典嗣	佐藤木材(株)	取締役社長
田村健吉	(一財)南都経済研究所	理事長
津秦幸生	ホテル日航奈良	総支配人
鐵東淳史	(株)エヌ・アイ・プランニング	取締役社長
出口悦弘	ディライト(株)	代表取締役会長
中村光良	中村建設(株)	取締役社長
萩原斗志弘	(株)萩原農場生産研究所	専務取締役
水谷豊	(株)あかしや	取締役社長
山本哲也	三和製菓(株)	取締役社長
堀田哲廣	奈良経済同友会	事務局長
◎印は代表幹事	○印は実行委員長	

2. 入退会者

◎新入会者 (※印は再入会)

※増田友宏	(株)春日ホテル	取締役社長 (26.4)
佐野弘	近鉄ケーブルネットワーク(株)	取締役社長 (26.4)
梅守康之	(株)梅守本店	取締役社長 (26.5)
齊藤正幸	(医)新生会 高の原中央病院	理事長 (26.9)
下村敏博	奈良まほろば法律事務所	所長 (27.2)

◎交替入会者

小嶋正士	大阪ガス(株)	奈良地区支配人 (26.4)
東英憲	野村證券(株)	奈良支店長 (26.4)
石丸龍彦	三井住友海上火災保険(株)	奈良支店長 (26.4)
荒木政信	明治安田生命保険(相)	奈良支社長 (26.4)
濱田浩二	大和証券(株)	奈良支店長 (26.4)
釜直久	東京海上日動火災保険(株)	奈良支店長 (26.4)
小林康弘	損害保険ジャパン日本興亜(株)	奈良支店長 (26.4)
茂木正暢	(株)三井住友銀行	奈良法人営業部長 (26.4)
三田村研吾	日本生命保険(相)	奈良支社長 (26.4)
岡村匡倫	岡村印刷工業(株)	常務取締役 (26.6)
芥文孝	奈良郵便輸送(株)	取締役社長 (26.6)
西岡裕之	西日本電信電話(株)	奈良支店長 (26.7)
木嶋誠一郎	SMB C日興証券(株)	学園前支店長 (26.7)
木村光孝	(株)商工組合中央金庫	奈良支店長 (26.7)
平田恭史	キリンビールマーケティング(株)	奈良支社長 (26.9)
森村照私	有限責任監査法人トーマツ	奈良事務所長 (26.10)
井上聡	第一生命保険(株)	奈良支社長 (26.10)
古田正拓	日本通運(株)	奈良支店長 (26.10)
早坂正仁	三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)	奈良支店長 (26.11)

伊藤 智 健	(株)三菱東京UFJ銀行	奈良支店長 (27.2)
竹内 一 順	SMB C日興証券(株)	奈良支店長 (27.3)

◎退会者

田中 耕 造	奈良観光バス(株)	取締役社長 (26.4)
佐藤 良 一	(株)豆仙坊	取締役社長 (26.5)
田口 晴 義	三喜精麦(株)	取締役社長 (27.3)
藤原 利 幸	(有)要技研	取締役社長 (27.3)
田中 孝 夫	武田薬品工業(株)	奈良営業所長 (27.3)

◎休会

船津 康 史	(株)四縁 薬師寺 AMR I T	取締役社長 (27.2)
--------	-------------------	--------------

3. 平成26年度末会員数

159名

IV 資料

平成26年度事業計画

奈良経済同友会

長引くデフレと閉塞感から脱却し、明るい陽ざしが見えてきた現在、今こそ、停滞からの脱却と新たな飛躍に向けて、経済成長路線をより確実なものにしていかなければならない。

中小零細企業が大半を占める地域経済は、原材料・電力高、東京一極集中、人材不足、海外移転、産業構造の変化など依然厳しい局面にある。今後われわれは消費増税など正念場を切り抜け、持続的成長につなげ、地域経済の担い手として独自の戦略と自主・自立の精神で急激な時代の変化に即応していく必要がある。

われわれ経営者はいつの時代にあっても常に新たな飛躍に向けて、自らが成長の牽引役として、賃金・雇用の増加と新たな設備投資による好循環の実現のため、絶えざるイノベーションの創出による競争力の強化、優れた人材とそれを活用するリーダーシップおよびマネジメントのもと、新たな成長を目指し、リスクをとって果敢に挑戦していくことが肝要である。

このような認識のもと、われわれ企業経営者が相互に切磋琢磨しながら、地域の発展を願い、地域の立場に立って考えながら、倫理観の高い経営に心がけ、高い志と時代を見通した先見性と実行力により、新しい時代にふさわしい経営の在り方を追求するために次のように事業計画を策定する。

<事業計画>

I 「例会」等諸活動

- (1) 「話題の経営者」や「タイムリーなテーマ」での講演会・意見交換会・懇親会の開催。移動例会をも含め最適地での例会の実施
- (2) 企業見学、先進地域の見学と県外経済同友会との交流会の開催
- (3) 若手経営者の交流・研鑽、後継者育成の場としての「フォーラム」の開催
- (4) 会員相互の親睦を広めるため、ゴルフ親睦会など多彩な交流会の実施
- (5) 海外視察研修の実施

II 「行政（実務者）との懇談会」の実施

- (1) インフラ整備、産業振興（政策）、医療政策、観光開発などのテーマで行政（実務者）との懇談会の実施

III 「提言」「研究」活動

- (1) 「質の高い・ほんもの」の観光戦略やスポーツツーリズムなどを通じた新しい地域活性化策の研究

IV 「ホームページ」の充実

- (1) 活動報告や企業紹介などを通じた情報発信の充実・強化

V 同友会の存在価値を高めながら長期的視野にもとづく会員の増強計画の実施

VI 第113回西日本地区経済同友会会員合同懇談会（平成27年10月）の開催準備

VII 「ネットワーク」活動

- (1) 京都・滋賀・奈良3経済同友会で組織する「京滋奈代表者懇談会」の充実
- (2) 5府県市（京都府・滋賀県・三重県・奈良県・京都市）3商工会議所（京都・大津・奈良）3経済同友会（京都・滋賀・奈良）による「京滋奈三・広域交流圏研究会連絡会議」の開催
- (3) 全国経済同友会セミナー、西日本経済同友会代表者会議、西日本地区経済同友会会員合同懇談会などへの積極的な参加と大学、関係諸経済団体との連携の強化

VIII 関係諸経済団体との連携のもと、リニア中央新幹線の東京・名古屋・大阪間の同時開通と京奈和自動車道の整備の促進

平成27年1月6日

平成27年年頭所感

奈良経済同友会

代表幹事 山田 善久

代表幹事 山本 太治

わが国の景気は、消費増税後に駆け込み需要の反動減などにより落ち込んで以降持ち直しは緩やかな動きとなっている。在庫調整の進展の動きはみられるが、実質所得の減少や天候不順の影響などを背景に個人消費の回復が遅れている。大幅な円安の進展は、内需を中心とする多くの中小企業には原材料高から収益圧迫要因となっている。一方、設備投資や雇用環境は堅調に推移し景気を下支えする要因となっている。

消費税の再増税が延期されたことやアベノミクスの続行が決定したことなどで、当面景気はなだらかな回復を続けると予想されるが、増税延期に伴う財政再建の後退や消費者マインドの冷え込み、海外経済の下振れなどが懸念されることもあり、景気の先行きについてはなお注視が必要な状況となっている。

このように景気の先行きに依然として不透明感が残る状況のなか、我々、奈良経済同友会は、平成27年の年頭に当たり、県内民間企業の政策提言集団として下記の提言活動目標を掲げ、奈良県の活性化のため、活動を展開していくこととする。

記

■平成27年の提言活動目標

「人口減少社会の到来を踏まえ、人が集まり定住するしくみを組み立て、魅力あふれる奈良県をつくろう」

1. 奈良県人口の現況

奈良県総人口は、ピークの146万人（2000年）から、直近（2014年10月1日現在）では139万7千人と、140万人の大台を割り込み、さらに、2040年には110万人をも下回ると推計されており、今後も長期にわたり人口減少が続くことが確実となっている。民間組織「日本創成会議」のまとめによると、奈良県内39市町村のうち17町村が2040年には「消滅可能性が高い」自治体として挙げられている。

いうまでもなく、人口は地域の元気度のバロメータであり、今後人口減少をいかに食い止め地域の活力を維持向上させていけるかが奈良県の将来を占うものと考ええる。

2. 「人が集まり定住する」ための3つの切り口

今後の人口減少を食い止め地域の活力を維持向上するためには、奈良県の有する資産、特性、潜在的可能性をきちんと見極めるとともにその魅力に磨きをかけ、奈良県に人が集まり定住するしくみをできるだけ早く組み立てていく必要がある。

そのための方策として次の3つの切り口から奈良県活性化策を考える。

(1) 観光活性化

- ・ 交流人口の増加で地域の活性化を図っていく。

数々の歴史文化遺産と穏やかで豊かな自然に恵まれた奈良県は、他の観光地にはない固有の魅力を提供する有力な観光地のひとつとなっている。定住人口の減少が進むなか、滞在魅力の創出や観光客への情報発信強化などで交流人口を増やし地域のにぎわい、活性化につなげていく。

・お客様目線、外から目線でサービスを考え顧客満足度を上げる。

観光の潮流が団体客から個人客に大きくシフトしており、ますます顧客サービスの品質が問われている。宿泊施設、飲食店、土産物店、運輸業はもとより行政や住民も含めて観光地ぐるみで、観光客が何を求めているのか、奈良に何が足りないのかを考え、「お客様目線」、特に県外観光客の「外から目線」でもう一度顧客サービス、もてなしのあり方を見直し顧客満足度を上げていくことが必要である。観光客を呼び込むためには、奈良の魅力をひと言で表す「キャッチコピー」をつくり観光地・奈良をアピールしていくことも必要であろう。大仏、鹿、古都など旧来の奈良のイメージにとらわれることなく、これまでと違った観点から奈良の魅力を再定義することから考えていきたい。新しい「キャッチコピー」を募るグランプリも検討されている。こうした試みは必ずや新しい奈良の魅力をづくり、発信していくことにつながるものと考えられる。

(キャッチコピー例)

○新・「寝倒れの奈良」

(旧来の意味)

再定義 (新解釈)

何もしないで寝てばかりいる → ベッドタウン (寝に帰る奈良)
→ 泊まる (奈良で寝る)
→ 医療・介護 (奈良で療養)

・外国人観光客 (インバウンド) にも優しい観光地をめざす。

近年の格安航空 (LCC) 便の増加や円安の進行に伴い、奈良にも多くの外国人観光客 (インバウンド) が訪れている。外国人にも分かりやすい観光インフラとして、外国語表記の案内や無料公衆無線 LAN (Wi-Fi) の整備などで外国人にも優しい観光地づくりをめざしていく。

・スポーツツーリズムを支援・推進する。

近年、県内においてプロスポーツ観戦や奈良マラソン、サイクルスポーツなどの魅力あるスポーツイベントの機会が増えてきている。奈良におけるこうしたプロスポーツの発展やスポーツイベントの増加は県内外から多くの観客を動員することでスポーツツーリズムとして経済波及効果が期待されており、地域の活性化に寄与するものとして積極的に支援・推進していきたい。

(2) 働く場づくり、地域を支える人材づくり

わが国は極点社会ともいわれ、今後も東京一極集中が進むと懸念される。奈良県も例外ではなく、若年者の県外流出が続いている。若年者の流出は将来の人口減少にも大きく影響するため、これを食い止めることは喫緊の課題である。奈良県の人口減をストップし定住人口を増やしていくためには、県内に魅力のある産業や企業を誘致し働く場を増やしていくことが必要である。また、次世代の奈良を支える人材の育成や経験豊富な退職者の活用も魅力あふれる奈良県をつくるためには欠かせない。

・優秀な人材の受け皿となる産業、企業の誘致

県内工場立地件数は2006年以降毎年20件以上で推移しており、今後も継続的な誘致が望まれる。奈良県は大学など高等教育機関への進学割合が全国的に見ても高く、これまでも多くの優秀な人材を輩出してきた。しかしながら、こうした優秀な人材の多くは県内で就職せず県外へ流出している。奈良県においては大規模な用地の取得が難しいこともあり、コンパクトな立地で高度な知見や技術を駆使するIT関連企業、高度医療機関などが優秀な人材の受け皿とし

て有望であると考えられる。

・地域を創り支える人材の育成・活用

奈良県の定住者を増やすという意味では、奈良県の魅力や課題を理解する次世代の人材育成が欠かせない。観光分野の人材育成においては、奈良まほろばソムリエ検定がその役割を担っているが、経済・産業分野ではそのしくみは不十分である。今後の学校教育で地元奈良の経済・産業に関する学習機会の強化が望まれる。子供たちが奈良の経済・産業の現状や課題を学習する機会を持つことは子供たちの郷土への関心や理解・愛着を育むうえで欠かせないことである。工場や作業現場を訪れるなど実地教育にも力を入れ、子供たちの目と心に焼き付けることも必要である。さらには、奈良におけるビジネスマインドの養成も視野に入れて子供達への起業・開業教育も取り入れていくことが望まれる。

・地域で大企業等退職者の経験・スキルを活かす。

県内在住者には大企業等で長年経験を積み重ねスキルを磨いてきた退職者が増加している。特に、団塊の世代（1947年～1949年生まれ）の退職が進んだことから、県内は時間的余裕があり豊富な経験を持つ人材の宝庫ともいえよう。こうした貴重な人材にそのマンパワー、スキルを活かして地域の魅力づくり、情報発信に加わってもらうことを考えたい。それが実現できれば、単に本人の生きがいや、やりがいになるだけでなく、魅力ある地域づくりにも大きく貢献するものとなるだろう。地域の自治会活動に終わらず、観光ボランティアガイド、小中学校における子供たちへのビジネス教育等で地域とかがわり合ってもらうことで地域の絆づくりにもつながっていくものと考えられる。

(3) 道路等交通インフラの整備

・南北道路の整備

県内では京奈和自動車道の一部開通で従前と比べて県南北間の移動時間の短縮が図られている。しかしながら、途中の一般道路においては渋滞が解消されず、十分な利用効果が得られるまでには至っていない。また、その他の一般道路においても朝夕の通勤ラッシュや観光シーズンの混雑時には相当の渋滞が発生する状況にある。県内の道路等交通インフラの整備は奈良県の経済・産業の発展にとって長年の悲願ともいべきもので、京奈和道の早期全線開通や一般道の拡幅、ボトルネックの解消などによりスムーズで快適な交通インフラの整備が望まれる。特に、南北道路の整備は県南部への観光客誘致やそれに伴う県内での宿泊滞在型観光推進の切り札ともなるものであり、緊急性を要するものとする。なお、現在県内で3つに分かれているリニア新幹線中間駅については、将来の奈良の重要な交通インフラとなるものであり、2027年の東京大阪間同時開業をめざし早期に一本化することが望まれる。

以 上